

八期オンライン日記第99号(7月号)



2025年7月1日～31日

玉龍8期パーティ案内

時:2025年9月16日
12時～15時(3時間)
会食2時間を1時間延長

場所:日比谷 松木樓
東京都千代田区日比谷公園 11-2

会費:20,000円

出席＆取り消し連絡先: 西山 和宏
email: mfikazu@tkg.att.ne.jp
email: nishiyamakazu@softbank.ne.jp
携帯: 070 2796 4878
参加申し込み or 取り消し期限

2025年8月4日(月)

参加 or 取消の連絡は、必ず西山から
確認を受け取るようにしてください

会食メニュー

フレンチ フルコース
スパークリングワイン
赤白ワイン他

オプショナル・ツアーのご案内

オプショナル・ツアーのご希望に応えて

2025年9月16日 松木樓でのパーティ終了後出発 雨天前行
ビヤレストラン「ライオン銀座七丁目店」

住所: 中央区銀座 7丁目 9-20
参加費: 実費割り勘です。
ドイツの雰囲気が濃いビヤレストラン、
予約はしませんが席を確保できます。
銀座中央通りを約40分散策しながら、
「ライオン銀座七丁目店」へ向かいます。
歩行不便な方は、ご自分でタクシーを拾つ
て向かってください。

2025年9月17日 会食＆浜離宮 雨天前行
参加費: 1万円 10時30分: 浅草雷門前集合
浅草散策後、「茶寮一船」(ちゃりょう いちまつ)にて
ミニ会席。12時～13時30分
浅草雷門での集合に遅れた方12時までに直接
会食場所の「茶寮一船」へお越しください。
Tel 03-3841-0333 住所: 台東区雷門1-15-1

14時20分: 水上バスにて、浅草より隅田川に架かる橋
を潜り抜けて浜離宮へ向かう。一万歩以上の散策を行つため、自力歩行が可能な方の参加をお願いします。
「茶寮一船」会食のみ参加希望者は、12時までに
「茶寮一船」へお越しください。(酉事前申し込み)

浜離宮: 江戸時代には鴨猟や釣りを楽しんだ大名庭園。
この池は潮の干満によって趣が変化する。幕末には石
造洋館・延遊館が建設され、維新後は皇室園遊の地に
なった。周遊途次「中島の御茶屋」で休憩(予定)。

オプショナル・ツアーの参加希望者は
いずれも 2025年8月5日(火)までに
西山 和宏へご連絡ください



大石
久しぶりに7時にウォーキング





大石

クルーズ船出航です(うんうん)
ビルが動いてるみたいだね!



森

膨大な資料が良くまとめられており楽しく読ませて頂きました。
大石編集長の代役を立派に果たされています。有り難うございました。



大石

今かなりゆっくり読み通しながらだんだんページを追うごとに自分が書いていたオンライン日記がいかにマンネリになっていたのか(ダンダン)恥いるばかりです。

隅から隅まで手抜きもなく仕上がっています。顔写真だけでも新鮮で観ていて楽しくなります。ぼくが想像してたより何倍も上出来ですよ。みなさんからの評価が聞けたらきっと拍手喝采だと思います。

今日木場さんから来た尾辻氏の娘さんの参院選出馬のトークが1日早かつたら締めによかっただかもしれません、選挙が終わってからの掲載でもいいと思います。

木場さんトーク添付します。

選挙戦のマスコミ情報など含めて来月号オンライン日記で掲載してはいかがでしょう。
LINEトークもあると思うので。



隈元

西山さん

編集ご苦労様でした。何も言うことはない素晴らしい編集ですね。

今年は、昭和100年、戦後80年…

「昭和も遠くなりにけり」という感じですが、私たち昭和を生きたものが忘れてはならない、いや忘れられない巨人軍・長嶋の死や戦災の事など多くの記事に心を奪われました。そういう意味でも記念すべき「八期オンライン日記98号6月号」になりましたね。

西山編集長に心から喝采の拍手をおくります。

ありがとうございました。

隈元 達雄



木場

大賀ハスが咲きました。
2枚 LINE します。



浜崎

蓮の花のなんと綺麗な事。小学校以来の友達で、宗教に熱心な女性に言われました。天国の蓮の花には限りがあるから、今のうちに善行を心がけなさい。そしたら蓮の花に鎮座することが出来るわよ。
一日一善という言葉は知っているが、とりあえず一日一回、善ちゃんに電話しよう。



森

座布団 1枚!!



浜崎

喫茶店の思い出、反応が少なかったですね。苦い思い出ばかりではないはず、それとも内緒内緒、内緒の話は、あのねの ねー、なのでしょうか。コカコーラが珍しい頃、気どってコークと注文したら、コーヒーが運ばれてきた。コーラだったのに、いいえコーヒーと言われました！連れの彼女もコーヒーと言ったわよっと、まだ、コーラをコークと言うのは、洋画の中だけ若かりし頃の勇み足、苦いコーヒーを味わいました。



西山

コカコーラの社員は「コーク」と言うことに強いこだわりがあります。その昔、コカコーラが酒販店を集めた講演会に講師として招かれたとき、「コカコーラ」ではなく「コーク」と言ってくださいと事前に言われました。

「コカコーラ」を一挙に有名にしたのは、1964年東京オ



リンピック掉尾を飾るマラソンコースで、アジズ・アベベは裸足で走って優勝した、そのコー

スである甲州街道に面した看板の半分に  を
描き、2時間以上にわたって、テレビ画面に映し出させた。
今日では、そのような宣伝手法は禁じられている。



木場

ハスの花は、遠くしか、見れません。
身近に見ますと本当に莊厳な感じします。
東京、上野公園不忍池のハスを西山さんの LINE で見ました。



浜崎

朝ドラあんぱんで、リンゴの唄が流れていた。小学校二年の時、歌っていた同級生 5 名、小学生が流行歌を歌うとは、何たることぞと放課後、居残り掃除をさせられた。復員されたばかりの軍服軍靴の、担任の先生でした。



木場

リンゴの唄は、戦後の大変な世の中で、明るく感じた歌謡曲、NHKラジオから
流れてくると口ずさんだこと、思い出しました。



森

歌手は誰でしたかね?



大石

並木路子?



森

城ヶ谷蓮は葉っぱだけです。



西山

りんごの歌は終戦の年の大ヒット曲ですよね。作詞はサトウハチロー、焼け跡だらけの時、千疋屋かどこだかのお店に赤いりんごがあって、それを見て作詞したとか



木場

並木路子さん昭和20年9月、第1作目の映画、そよ風の主題歌、主人公演じた様です。この歌は、世の中を明るくしたように憶えています。自分も歌ったと記憶しています。明るい気分となったように思います。リハビリセンターのプログラムにもボケ防止に昭和歌謡中心に毎回2曲、皆さん歌っています。



大石

全国にちらばつた八期のかたからの花の便り嬉しいでさん、木場さん宅のはすのはな。西山さんさんの不忍池。有難うございます両方とも大きなハスの葉っぱからピンクの 可愛らしい蓮の花。すてきですね



永野

有難うございました。
木場さん。あれからすぐ^o^可愛らしいピンクのおはなさきましたね^o^アパートの屋上での栽培はお水などに大変でしょう。ご苦労様



木場

永野さん、ありがとうございます。



永野

西山さん 上野不忍池の景色いつ
もありがとうございます♪
あなたのおかげで私も楽しんでいます。これからもヨロシクお願ひします
満開に咲いた時も観たいです^o^
東京の不忍池が鹿児島にある様な気持ちになります。



大石

さあ野球 BS 始まりました。山本が投げてる。
2 時間 ゆっくり涼しい部屋で♪



永野

私も、見てます。
8勝目期待。ロバート監督、今シーズン 18 勝期待。
ドジャース主力投手期待。



木場

大石さんの日中友好、長い年月、携わって来られた事、わかりました。
南日本新聞記事、薩摩の夜明け、お由羅騒動
読みました。ありがとう！



大石

注目しているけど応援してるわけではありません。(応援)と言って他候補は興味ナシ(無関心)



森

父上は玉龍出身だしね



西山

尾辻朋美。1981 年 1 月 17
日生まれの 44 歳。

早稲田大学政治経済学部卒。
三井物産勤務、父参院議員尾辻秀久の
(元)秘書。

鹿児島 ①

尾辻を園田が猛追

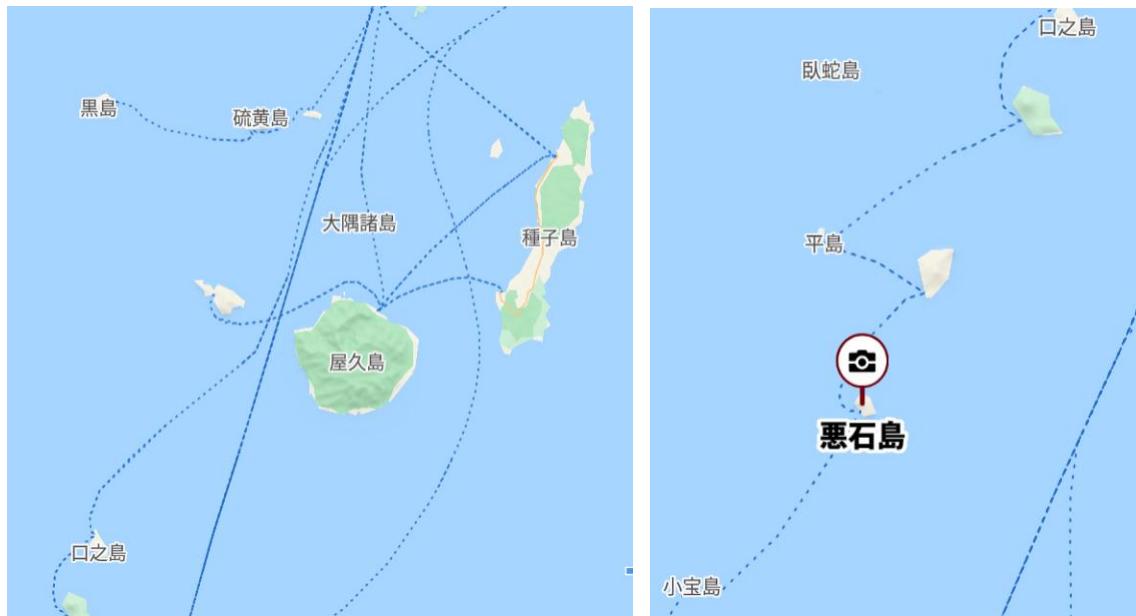
尾辻が立民支持層の 9 割を固め、や
や有利。自民県連公募で選ばれず立民
の推薦を受け、政権批判票をまとめる。
園田が自民支持層の 7 割を固め激しく
追う。衆参両院議員の経験を訴える。
牧野が参政支持層の 9 割を固め浸透に
腐心。

尾辻 朋実 44 园議員秘書	無	新
牧野 俊一 39 医師	立	元
園田 修光 68 园厚労委員長	参	自
山本 貴平 50 NHK党員	諸	新



ゼンチャン

地図で見ても何処にあるのか分からぬ小さな島でかねて鹿児島の人達さえ関心の薄い島なので今回は連日ひんぱんに起きてる地震で全国に知れ渡っています。早く収まると良いのですが……。



大石

ぼくの左右県議(自民)曰く「尾辻手強いぞ！お父様の存在が……」



浜崎

ここ4日程、食後の洗い物を引き受けている。カミサンが食事の準備中つい手を滑べらせて、指を切ってしまった。めったにないことなので、血を止めるのに慌てた。毎食、飲んで食べるだけの生活だったが、今かいがいしく後片づけを手伝っている。女の人は、毎日毎食大変だなあと、今さらながら、感心するやら反省しきり、母が健在の頃は、女手がたさんで、台所で男の子がウロウロするもんじやない。と教えられた。それ以来台所仕事とは、あまり縁がない。料理は、したことない。ゆでたまご、リンゴの 皮むきは、出来るが。8期の男性諸氏どんな料理できますか。



森

私も家内が先月末から2週間余り腹部動脈瘤で入院したため自炊生活をしましたがレトルト食材ばかりで、食事作りには苦労しませんでしたが味気ないものですね。



ゼンチャン

僕は食べた後の食器洗いを専門にやっていますが茶椀を落として割つてしまい娘に叱られています。



西山

食器洗いは非常に喜ばれると思います。洗い物をうまくやるコツは水をジャブジャブ使うこと。ちょっと水を節約するとうまく洗えないことがあります。でも 水を流しすぎて怒られないように注意しましょう。

西山

私は家内が倒れて、10年ちょっと毎日朝昼晩3食毎回作っています。レシピはパソコンで、圧力釜を活用してビーフシチューや豚の角煮など、最近はノンフライヤーも使っています。アメリカでは普及率約90%位。2台持っている人も多いそうです。家内が元気な時は朝の味噌汁っていうのはあまりありませんでした。現在は具だくさん豆腐入りの味噌汁を欠かしたことありません。土曜の丑の日はまだ先ですが、昨日はうなぎ入りのちらし寿司を作りました。お米は洗って水を切り、ザルにとって冷蔵庫に保管し、炊く前に取り出して圧力釜で炊いています。ポテトフライが欲しいときにはノンフライヤーで作ります。総菜のお天ぷらやフライ物は、ノンフライヤーで温めると抜群に美味しいです。





浜崎

西山さんには、感服。



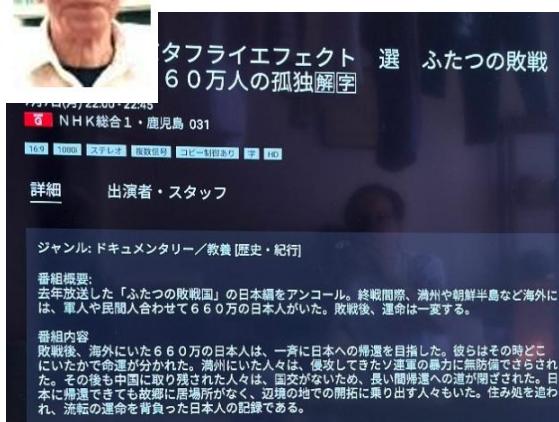
大石

ぼくは投稿しているみなさんに感服です。台所はトースト（焼き上がりにうるさいので任されてしましました）当番だけです。自分で食べ終えた食器を台所へ持つて行く迄（洗い方が下手だと言われ）です。

森



大石



	011 MBC	021 E	031 G
7/7 (月)	MBC南日本放送	NHKEテレ1鹿児島	NHK総合1・鹿児島
20	■ CDTVライブ！ライブ！★ M！LKが大ヒット曲イijやん★イコラブ★ T XT団 ★アイナ・ジ・エ	00 ハートネットTV フクチッチ (67) デフリ 30 きょうの健康	▲ 鶴瓶の家族に乾杯 俳優・山本耕史が宮崎県日向市に趣ある町並みをゆく T團
21	55 アーティスト別モノマネ頂上決戦 俺にアイツを歌わせたら右に出るものはいない第7弾団 アーティスト別で最も似ているシンガーカーは誰なのか？モノマネ界禁断の対決2連発！▼今夜、大人気アーティスト...ミセス・A do・ヒゲダン・優里らのNo.1が決定！	00 きょうの料理「暑さを乗り切る！うちの夏ごはん」 30 趣味どきっ！選 こっそりスマホの達人（	00 ニュースウォッチ9▽新米の予約増...どうなるコメ▽大リーグ球宴選手発表団 早くも新米の予約
22	00 グレーテルのかまど 竹久夢二のしるこセーキ 25 100分de名著 フッサー・超越論の現象学	00 映像の世紀バタフライエフェクト 選 ふたつの敗戦国 日本 660万人	00 45 【夜ドラ】あお
	50 プリンプリント物 00 news 23 団 あなたと あなた	05 プリンプリント物 00 参議院比例代表	00

残留孤児の物語!! nhkの夜10:00デス！

中国残留孤児

“戦禍”言葉の壁、今も

鹿児島市の県営住宅で暮らす高橋達雄さん（左）。
「二つの祖国の平和が一番大事だ」と語る

友好的な日中関係に期待

鹿児島市の県営住宅で暮らす中国残留孤児、高橋達雄さん（83）の次女良恵さん（55）は、中国の遼寧省で暮らしていた子どもの頃、父がいつも手紙を書いていたのを覚えている。宛先は日本の中学生。1978年から91年まで、高橋さんは帰国を求めて何度も何度も手紙を書いた。

中国で生き別れた母と80年に河北省で再会し、高橋さんの身元は判明した。しかし、日本にいる親族の協力が得られず、訪日調査団への参加も取り消された。日本政府からはいつも「待ってください」というむなしい返事が届いた。

89年によく帰国を許

戦後80年
託す
2025
かごしま参院選

鹿児島市の県営住宅で暮らす中国残留孤児、高橋達雄さん（83）の次女良恵さん（55）は、中国の遼寧省で暮らしていた子どもの頃、父がいつも手紙を書いていたのを覚えている。宛先は日本の中学生。1978年から91年まで、高橋さんは帰国を求めて何度も何度も手紙を書いた。

中国で生き別れた母と80年に河北省で再会し、高橋さんの身元は判明した。しかし、日本にいる親族の協力が得られず、訪日調査団への参加も取り消された。日本政府からはいつも「待ってください」というむなしい返事が届いた。

89年によく帰国を許

川崎

■第一幼稚教育短期大学2年
千佳さん（25）
霧島市隼人町見次



私の一票

保育士の待遇改善を

愛情を持って、子どもだけではなく保護者にも安心感を与える手が減ってしまう。労働に見合った待遇改善が必要だ。命を預かり、子どもの基礎をつくらなければならぬが、訴えが漠然としない。

日本で生き別れた母と80年に河北省で再会し、高橋さんの身元は判明した。しかし、日本にいる親族の協力が得られず、訪日調査団への参加も取り消された。日本政府からはいつも「待ってください」というむなしい返事が届いた。

89年によく帰国を許

など、女性特有の負担を軽くする施策や、子育て世代への支援を充実してほしい。

最近、ある候補者のPR動画がユーチューブで流れているのが見えた。政治に興味を持つきっかけにはなるが、訴えが漠然としていて具体像が見えない。その場のいのではなく、長期的な視点を持つた人に一票を投じた。

離れて歩いた。長女は日本に就くこともできなかつた。近くに住む良恵さんが付き添わなければ病院へも行けない。もつと早く帰国できていれば、違う人生もあつたのでは。

同じような思いを良恵さんも抱える。20歳から日本語を学んだが、なかなか滑らかにならない。「日本語がうまければ、もっといい職に就けたのに」と思う。子育ても言葉で苦労した。「中国語を話すと子どもが『中国人』とからかわれる」と、人前では親子で話さないようになつた。当時は今よりも周りの目が厳しく、うつかり中国語が出てしまわないように子どもと日本語の習得は難しく、職

選挙結果の紙面がスマートで見られる
（購読者限定、無料）
（QRコード）

国策に翻弄された残留孤児たちは戦後80年を迎、4世のひ孫もいる。一家が集まる機会もあるが、中国語を解さない孫たちとの間には言葉の壁が立ちはだかり、戦争の影が尾を引く。

鹿児島市で育つた3世の男性（45）は祖母（82）が残留孤児で小学生の頃、来日した。「兄弟で中国語を話せるのは長男の自分だけ。僕の世代になるともう少しちつかず、一般的の中国人や日本人とは違う生き方をし

ない」と語る。男性の祖母は13歳の頃、周囲のうわさで残留孤児たと知り、今でも「親に捨てられた」という思いが強い。戦争がなければどちらなかつた運命。「もう昔のようない」と言いながら悪化する日中関係を憂慮し、友好な関係を築く政治に期待する。中国の養父母への恩を忘れず、「日本と中国の間で二度と戦争をしてほしくない」と繰り返した。

（兵頭昌岳）



大石

共に保存版です。切り抜きをアルバムに保存しませんか？







ゼンチャン

アメリカのテキサスで、異常気象による大洪水により多くの子供や行方不明者がでているみたいです。トランプが現地に視察行くそうですが、異常気象条約から脱退して居るトランプ現場を見てどんな感じを抱くのか(驚く)

西山



ドナルド・トランプ大統領の Sunday Truth Social メッセージ

「私はちょうどテキサス州カーラー郡の大規模災害宣言に署名しました。これは、勇敢なファーストレスポンダーが必要なリソースをすぐに入手できるようにするためにです。これらの家族は、多くの命が失われ、多くの命が行方不明になるという想像を絶する悲劇に耐えています。私たちの素晴らしい米国沿岸警備隊は、州のファーストレスポンダーとともに、850 人以上の命を救ってきました。神は家族を祝福し、神はテキサスを祝福します!」



西山

ファーストレスポンスとは、ご存知のように何か起ったとき、文字通り最初に駆けつける消防士、警察官、今回は沿岸警備隊(コートガード)であつたようです。コロナパンデミックのとき、ファーストレスポンダーは、お医者さんや看護師さん、薬剤師さんなどでした。



木場

アメリカテキサス州大水害たくさんの人々が亡くなつておられるようです。



西山

7月4日独立記念日テキサス州中部で発生した壊滅的な鉄砲水は、グアダルーペ川沿いの少女たちのためのキリスト教のキャンプ・ミスティックの20人以上を含む100人以上が災害に遭遇した。

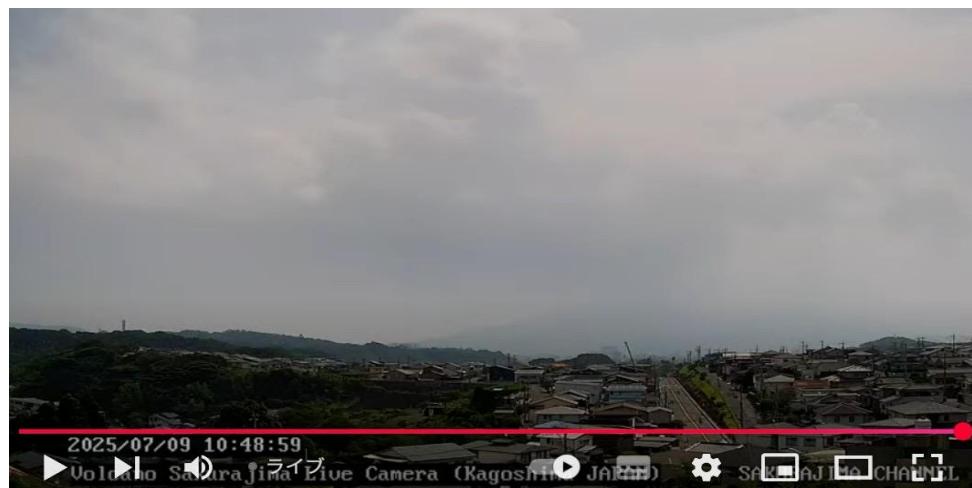
災害発生場所は、オースティンの西約100マイル、サンアントニオの北西65マイル。



浜崎

久々の灰神楽参った！雨が欲しい。

西山



今日7月9日10時48分の映像です。桜島が灰で覆われています。
鹿児島在住の皆様本当に大変だと思います。



永野

吉野は降っていません
でも暑い☀(?)
お部屋で過ごしています♪
酢豚!?食べたい
レシピ考えて?いるところ
朝顔が元気が無い
森さんたく!?元気がよかねー



森

今年は日中友好朝顔の種が沢山採れそうです!



ゼンチャン

何年ぶりか鹿児島市内灰神楽で風向きが例年とは違い市内に噴煙がけります。猛暑と灰が一緒になって何時まで続く事かと心配です

鹿児島市 2025.07.09 13:32



西山

ウォルマートは、7月4日の週末に悲惨な洪水に見舞われたテキサス州中部のコミュニティに、顧客からの寄付を含めて50万ドルの助成金と現物寄付を行い、赤十字社や救世軍などの地元のパートナーに食料、水、その他の必需品を提供している。

カービルのウォルマートスーパーセンターでは、無料で温かい食事を提供し、他の企業と協力してランドリートラックとシャワートラックがこの地域に送っている。



大石

西山さんのいつもながらの情報収集力と洞察力に感服!!大石



ゼンチャン

さすが西山さんテレビのニュースよりも詳しい情報がわかりアメリカの素早い行動力にはさすがだと感心します。

西山

生意気なことを言うと、テレビも新聞も私と同じような情報源から得ていると思います。時間さえあれば結構詳しいことが分かります。

米国でも庶民が災害にあった時、多くの企業が支援に参加します。特にスーパーマーケット企業は水ですとか食料ですとかを提供します。あまりニュースにはなっていませんが、被災者が欲しいもの手に入ると有り難いものにビールがあるはずです。



米国企業が救援に積極的に参加する。背後には、私は宗教的な考えがあると思っています。ここで言う宗教的は、道徳的とか思いやりと言い換えてもいいと思います。米国には悪いことをする連中がたくさんいますが、慈善活動を積極的に行う人たちも大勢います。

人に親切にすることや礼儀正しくすること、労働の価値などは早くから教えられているようです。日本は受験勉強に力を入れすぎだと思います。テスト、特に入学試験で良い点数を取ることに力を入れ、人間の教育と言うのはほったらかしにされているような感じがします。いやそんな事はないと言うご意見もあるでしょう。そういう意見が多いことを期待はしております。



ゼンチャン

我々の高校時代は頭が良く成績が上位の生徒から医学部を受験させていた本人が医者になりたいと思ってなくとも国家試験に合格すれば医者になれたその人間が医者に向いているかいないかは関係無く日本の医者は現在でも変わってないと思う。

医学部を卒業してから医者になる為の国家試験が日本とアメリカでは全く違う。

アメリカでは医者になる為には第一その人間が医者に向いているかいないかのテストが厳しくそこで合格しなければ、医学部を卒業しても医者になれないと言われています
どんな審査をするのか分かりませんが日本は国家試験に合格すれば誰でも医師免許がもらえ開業できます。

誤解のないように日本の医者にも立派な優秀な医者が沢山いますが最近の医者を観ていると患者と向きあってしつかり話し合いする医者が少なくなったような気がします。

西山

ゼンチャン、全くおっしゃる通りです。人の命を預かる医者にまず求めたい事は適性です。これは他の職業についても言えると思います。その職業に従事するのに性格や人柄が適してるかどうかは極めて重要だと思います。現在自衛隊のトップ統合幕僚長吉田圭秀(よしだ よしひで)は、早くから軍人を目指したのではなく、東大工学部卒業にあたり就職先として自衛隊を選んだ人です。実質初めての一般大学卒業者だそうです。自衛隊のトップは防衛大学出身者にしてほしいと思いますね。





ゼンチャン

最近の医者は患者の顔は見ずにパソコンの画面だけを見て話しされるようですね



西山

そのパソコンの入力は、見事と言うほかありません。
本当に間違いなく入力しているのでしょうかね。



隈元

武岡は、全然ふっちょらんど！



木場

鹿児島市内は、桜島の噴煙で、降灰、大変のようですね。



永野

水道代が上がります



木場

清掃、水道たくさん使います。これも痛手ですね。よく分かりました。暑さの中での作業も大変ですね！



西山

久々に大石君と電話で語った。ご無沙汰続きで御免と言ったら、御無沙汰なんて全然思ってないよ、毎日玉龍八期 LINE で語り合っているじゃない。うれしい返事であった。



浜崎

森さんのスタンプ面白い！そして的確。



森

今日古いアルバムをめくっていたら偶然
名簿に包まれたままのこの写真が出てきました
いつの同窓会でしょう？



※ 女性の方は、旧姓で書いてあります。(現姓は、名簿を見てください)
※ (1), (2), は、3年生のときの 爵です。



永野

森さん 50年前ぐらいですか
私も隈元さんも若いね



浜崎

大相撲名古屋場所が新会場の IC アリーナで始まった。暑い名古屋で手に汗
握る、熱い取り組みが始まった。あなたの、ひいきの力士は!



森

私は出席していないようです
玉龍八期創設時の写真でしょうか？
いつ頃どこで撮られたものか覚えていませんか？



大石

ぼくの前にいる人西清クン？
やはりそう！清隆だったね。バレ一部？深くはないけどずーっと身边にいましたよ。
まるで恩師のような隆クンを始め錚々たる八期仲間たち…20年後に『天国八
期会』で集まりたい。



ゼンチャン

西君ですね
この写真はいつ撮ったか分かりませんか



浜崎

玉龍同窓会総会の実行委員当番の、平成 5 年、1993 年 8 月 6 日水害の後、
サンロイヤルホテルでの記念写真です。32 年前になります。
私の小さなカメラで撮った写真を横 25cm 縦 9cm 程に伸ばしたものです。14 名
亡くなっています。在りし日の楽しい思い出です。



西山

てっきり先生だと思っていました。名簿を見てそうでないことを知りびっくりです。



森

胸に花まで付けてるからてっきり招待された先生と私も思ってました



浜崎

あの頃は、髪がふさふさしていたので、見間違えるはず、だって 32 年前ですよ。!



森

鮮明度を上げてみました。



浜崎

森さんの技術、断然良いです。女性が素敵で、まぶしいです。



木場

浜崎さんが言われるよう、森さんのおかげで、眩しいぐらい、見えます。

西山
折角ですから
拡大して……





浜崎

忙しい一日でした。朝ドラを見たら、メジャーリーグのオールスター。お昼ご飯を食べたら、大相撲、横綱二人がこけたら、ドイツと日本のバレー、そして、女が吠える夜を見て、ようやく寝るところです。疲れた。おやすみなさい。



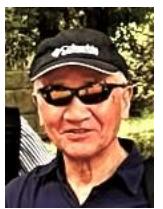
木場

浜崎さん、よく頑張っておられますね！森さんの言われるように、おやつとさあでした
実は、私も同じく、過ごしました。がつつい疲れた1日でした。



大石

小森くん！よかったです。次は書き込みレッスン頑張って(ガンバレ)



西山

私は浜崎さんや木場さんがやっていることを1つもしませんでした。
それでも忙しい1日でした。人それぞれということでしょうか。
小森さん、大石インストラクターの指示に従ってやれば人並みにできるようになります。頑張ってみんなの仲間入りをしましょう。



浜崎

今日は、朝一番に歯医者さんへ、何十年ぶりの抜歯でした。大きな梅干しをしゃぶるつもりが固い種をもろに噛んで、ぐらぐらに、だましだまし半年位がまんしていたけど、限界でした。
麻酔で唇がしびれて、初めてのキスをしたときみたいになりました。◐



隈元

私は、昼一番に有村眼科でした。白内障の手術から4ヶ月近く経ちましたが、右眼が少し霞んでいるくらいで、毎月の視力検査でも順調にいっていると言われています。

歯科は、毎月クリーニングしてもらっているので、問題ありません。

あと内科にも毎月通っています。[苦笑]



西山

その年で歯を抜くとは自慢できることですね。また毎月歯のクリーニングに通っているのも驚きです。お二方とも極めて健康的で、かつ健康に留意しているものと思われます。長生きしますよー。



森

子供の頃こんなを採ってきて蜘蛛合戦をしませんでしたか?



木場

ひまわりのムーランルージュ及びレギュラー版黄色の2種類が屋上庭園で咲きました。



永野

屋上庭園
木場さんの専用
私は今、朝顔にはまっています?

木場さんお花の育てかたお上手ですねー

永野

鹿児島は雨
向日葵のはな
綺麗に咲きましたね
永野宅はまだつぼみ



浜崎

木場さん、いろいろな花の写真、眼福です。花を愛する人は、心優しい人。ひまわりを見ると、壮大なウクライナのひまわり畠をバックに繰り広げられた映画、ひまわりを思い出します。

ソフィヤ ローレンとマルチエロ マストロヤンニ それに可憐なリュドミラ サベーリエワ が三つ巴の戦争の影を引きずる悲恋の物語。今も鮮烈に思い出します。
ヘンリー・マンシーニの哀調を帯びた主題曲もよかったです。



ゼンチャン

あの映画の壮大な美しいヒマワリ畠のウクライナは
何処に消えたのか世界中から戦争が無くならない、世の中が何時になつたら来るか願っています。





木場

大谷選手の写真はフェイクという意見も出ています。私は信じたいと思っています。



森

まだ名前も発表していないのに赤ちゃんの顔を出すはずがないでしょう。多分AIで作ったフェイク画像だと思います。

編集人から:「大谷選手と娘さんの写真」は確認が得られるまで掲載保留にします。

風船爆弾をつくった少女たちの抵抗

戦後 80 年 特別寄稿 あの戦争と私

小林 エリカ 作家

2025/07/09

「どうしてわたしは知らされていなかつたんだろう」。それは、ないことにされたままの歴史

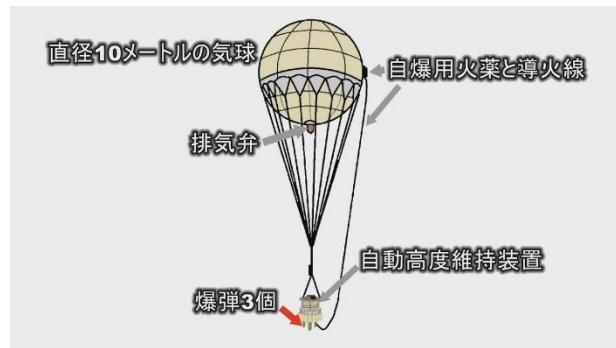
うゐのおくやま けふこえて
あさきゆめみし 炉ひもせず

一昨年の夏、我が家のあるプランターには、どうにも見慣れぬ斑模様の茎をもち傘のように葉を広げる奇妙な植物が、ぐんぐんと育っていた。

コンニャクである。

私は味噌田楽だとか、ダイエットのコンニャクゼリーなんかでコンニャクを食べることはあっても、コンニャクというあの半透明で弾力のある物体が、果たしていったい何からどんな風にできるのか、長年全く想像したことになかった。

コンニャクは、コンニャク芋からつくられている。



とはいっても、コンニャク芋というものは 1 年植えただけではその芋がまだ小さくしか成長しないから、秋に地中から掘り出し冬には倉庫へ寝かせ、春にまた植え、2 年目、あるいはそれを更に繰り返した 3 年目に掘り出した芋を使うという。しかも、同じ畑に植えると連作障害がおきるから、一度掘り出したコンニャク芋は、翌年また別の畑に植え直さなくてはならない。よ

うするに、えらく手間がかかる食べ物である(その割にはスーパーで売っているコンニャクが安すぎやしないだろうか)。

しかもコンニャク芋というやつは、生のまま素手で触れたりすれば里芋の何倍もの痒みを引き起こすそうだから、気をつけなければならない。手袋をして輪切りにして干して粉にしたものを使うか、茹でて使う。ちなみに、コンニャクの粒粒した灰色は海藻を練り込んでいるためだそうで、純粋にコンニャク芋だけを使えば白いコンニャクができる。

これらの知識は、みんな下仁田でコンニャク畑をやっている上州下仁田屋神戸農園の方と、下仁田こんにゃく観光センターの方に教えてもらった。私は手取り足取りコンニャク芋の収穫体験からコンニャクづくりまでさせていただいた末、コンニャク芋までわけていただき、遂にそれを我が家でプランターに植えてみた、という次第であった。

ところで、なぜこんなにも私がコンニャクに執心しているのかというと、そのはじまりは、風船爆弾であった。

風船爆弾というのは、第二次世界大戦中、日本軍が陸軍登戸研究所で極秘に開発した秘密兵器である。「いろは歌」のいろはにほへと、の「ふ」からとて、「ふ」号作戦という暗号名で呼ばれた。

直径約 10 メートルの風船に爆弾と焼夷弾を吊るし、日本上空の偏西風であるジェット気流に乗せて飛ばして太平洋を約 2 日で横断させ、アメリカ本土直接無差別攻撃を目論んだ。いずれは生物兵器、牛痘ウイルスを搭載しようと研究所では人体実験も含めた研究開発もすすめていたが、それは実現には至らなかった。

その風船の原料は、純国産の和紙とコンニャクであった。

かのコンニャクを糊として使い、和紙を貼り合わせた(和紙にコンニャクを塗ると、和紙がゴムのように強靭になり防水効果も得られるのだ。果たして、ゴムで風船をつくるという案も持ち上がったが、もはや植民地で採取したゴムを船で本土へ運ぶことはままならない状況だったために実現しなかった)。

風船爆弾は、1944 年 11 月から 1945 年 4 月まで、太平洋側の海岸、千葉県一宮、茨城県大津、福島県勿来(なこそ)から約 9300 発が放球され、アメリカ大陸へ到達したと考えられているのは約 1000 発。

そのうち 1 発はワシントン州ハンフォードサイト近くの電線に落下し、アメリカの原子爆弾開発マンハッタン計画でやがて長崎に投下されることになる原子爆弾のコア、プルトニウムを精製していた原子炉の電源を落とし、その復旧のため原子爆弾製造が 3 日遅れたともいわれている。

また 1 発はアメリカ、オレゴン州ブライに到達し、教会の日曜学校でピクニックへきていた子ども 5 人と妊婦 1 人の 6 人が死亡した。それは第二次世界大戦中唯一、アメリカ本土での犠牲者になった。

かの風船爆弾をつくったのは、満州を含む日本全土の女学生たちだった。

「手先の柔らかい若い女学生が和紙の貼り合わせに適している」ということで、女学生たちが、少女たちが、選ばれ、動員された。

小倉造兵廠に動員された女学生たちは、学徒特攻隊と名づけられ、1 日 2 交替、飲んだり食べたりする時間えないまま昼と夜の 12 時間、やがて 15 時間ぶつづけで働き、白い 2 粒の錠剤を飲まされていた。おそらく、覚醒剤だった。

東京の街でも、風船爆弾づくりがおこなわれた。

そのうちのひとつの場所は、東京宝塚劇場。

そう、いまなお有楽町にある、あの少女たち憧れの地、東京宝塚劇場である。

直径 10 メートルの風船を膨らませるにあたり、秘密兵器であるからして外からは見えない天井高のある場所が必要、ということで劇場が選ばれた。そもそも戦時下にあって、劇場などというものは



風船爆弾製造の様子① (林えいだい氏所蔵)

「不要不急」のものだったのだから。劇場は閉鎖され、軍のものになっていた。かつてその劇場で公演していた宝塚歌劇の少女たちは劇場を追い出され、慰問公演のために北支の前線へ遣られるか、女子挺身隊として工場で働くことになった。

そうしていまや、兵器工場と化した東京宝塚劇場へ動員されたのは、雙葉、跡見、麹町の高等女学校2年と4年、今までいうところの、中学2年と高校1年、10代の女学生たちであった。

私が風船爆弾について知ったのには、ふたつのきっかけがあった。

ひとつは、これまで私は長らく核の歴史をテーマに『光の子ども』というマンガを描いていたので、アメリカのマンハッタン計画を調べるうち、風船爆弾という兵器のために原爆製造が遅れたという話に辿り着いたこと。ついでにいえば、ドイツで放射能研究を行っていた科学者たちが参加していた毒ガス開発について調べてゆくなかで、日本でも毒ガスを作っていた大久野島を訪れ、そこでも風船爆弾づくりが行われていたことにも、私は出くわしていた。

もうひとつは、私は小学校から高校まで、キリスト教カトリックの学校へ通っていたのだが、その保護者会で母が聞いてきた話を、私が覚えていたこと。それは、同じくカトリック校である雙葉高等女学校の生徒として、かつて風船爆弾をつくった、というシスターの話であった。

私の中で、そのふたつが結びついたとき、風船爆弾というものに、俄然興味が湧いた。

そんなわけで、私は、東京宝塚劇場での風船爆弾づくりをテーマに小説を書いてみたいと思うに至ったのである。しかしそれを書き上げるまでに、気づけば実に、6年以上もの年月がかかってしまった。

まあ、コンニャクを育てたり、和紙漉きも楮(こうぞ)剥きもやらせてもらったり(楮もいただいたきて庭のプランターで育てようとしたが成功しなかった)、そんなこんなで、やたらと時間と金ばかりがかかるてしまった。このタイムパフォーマンス、コストパフォーマンスが呼ばれる資本主義社会において、実に我ながら驚くべきのろさと生産性のなさだが仕方がない。

というのも、風船爆弾づくりそのものに関しては、全国各地でおこなわれていたために、それなりにたくさんの本や記録もあるのだが、東京宝塚劇場の風船爆弾づくりに関しては、それが殆どなかつたのだ。

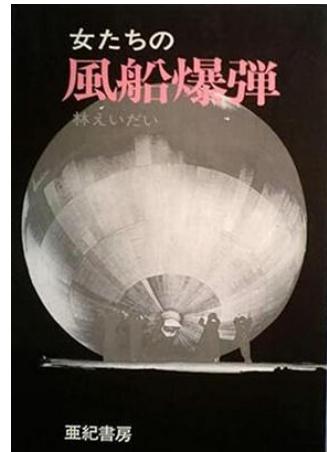
私が知るかぎりまとめた本というのは、雙葉高等女学校の生徒として自身も動員され風船爆弾づくりにたずさわった南村玲衣さんが私家版としてまとめた『風船爆弾 青春のひとこま 女子動員学徒が調べた記録』1冊きりだった。

というわけで、私は小説よりもまず、そこでおこなわれていたことを仔細に調べあげるところから、はじめなければならなかつたのだから。

とはいって、南村さんが本を書き残してくださったことと、私が南村さんにお会いしてお話を聞くことができたのは、幸運だった。

南村さんは、戦後40年経ったある日、東京の街を歩いていたところ、本屋のショウウインドウに並ぶ本の表紙に、かつて自分がつくっていたのと同じ風船の写真を見つけたという。それはおそらく、林えいだいさんによる本、『女たちの風船爆弾』、あるいは『写真記録・風船爆弾 乙女たちの青春』だったと思われる。南村さんは、そこに

かかっていた風船爆弾というのを見て、はじめて自分がつくられたものが兵器であり、それが、実際人を殺したことを、知ったという。



子育て中の主婦だった南村さんは、それをきっかけに、かつて自らの手でつくった、つくられたものなどを独自に調べ始める。防衛庁へ通い、かつての同級生たちに話を聞いてまわった。そうしてそれを、本にまとめ、自費出版した。

そのお話を聞いた私は、思わず「なぜそんなにしてまで？」と尋ねてしまったのだが、南村さんはこうおっしゃった。

「どうしてわたしは知らされていなかつたんだろう。隠されていた、っていう気持ちはあった。秘密にされていたことへの抵抗」

私は、そして、南村さんから「抵抗」という言葉を受け取ってしまったのだった。

それを聞いてしまったからには、なんとしてでも、この物語を書き上げなければならない。

そもそも、私にとっては、風船爆弾というものが、戦後40年が経つまで、知らされていなかつた、なかつたことにされていた、という事実もまた、衝撃だった。

かつて風船爆弾の研究開発をおこなっていた陸軍登戸研究所も同じであったという。そこに広大な跡地は残されていたものの、戦中そこで何がおこなわれていたのか、戦後40年が経つまで、知られていなかつたというのだ。

陸軍登戸研究所でおこなわれていたことは極秘の計画で風船爆弾は秘密兵器だったから、敗戦とともに、軍は証拠を隠滅し、それを全てなかつたことにした。書類を焼き、そこで働いた人々は、ここで見聞きしたことは墓場までもってゆくようにと、箒口令を敷かれていたから、誰もそれをすすんで話そうとはしなかつた。実際、戦犯の容疑をかけられかねないことでもあったから。

そこで何があったかがようやく知られるようになったのは、地元で高校教師をしていた渡辺賢二さんと高校生たちが一緒になって、平和学習の一環としてその跡地を、ひたすら歩き続けた結果であった。そこを歩いている人たちがいるという噂を聞きつけて、人が集まってきた。そのうち、かつてそこで働いていた、という人たちもやってきた。そこを一緒になって歩きながら、ひとりまたひとり、ぽつりぽつりと、渡辺さんに、高校生たちに、話を打ちあけはじめる。

「『40年過ぎると、さみしくなってね』と言う方がありました。高等小学校を出て一生懸命働いた。それが正しかったか間違っていたかもわからない、けれどそこでやつたことは墓場まで持ってゆけと言われていたから、話すこともできない。自分の歴史が消えたみたいになる。それがだんだん苦しくなった」

やがてそこへ、かつて陸軍登戸研究所でタイピストをしていた関コトさんがやってきて、渡辺さんに分厚い書類の束を手渡した。それは、敗戦と同時に焼けといわれた、陸軍登戸研究所の機密書類だった。当時15歳だった関さんは、けれどその青春をかけて自らタイプした書類を(和文タイプというのはすごく習得も難しいし、タイプにかける労力というのは半端ではないのだ)、どうしても燃やすことができなかつた。こつそり家へ持ち帰り、保管していたのだった。

それは防衛庁にさえなかつた、貴重な資料であった。それにより、はじめて陸軍登戸研究所の全貌が明らかになつたという。

そのようにして、渡辺さんをはじめ、高校生たち、地元の人たちが一緒になって活動を続け、遂には陸軍登戸研究所の建物を保存し、明治大学平和教育登戸研究所資料館をつくりあげるに至つた。それは、地元に暮らす、ひとりひとりの想いと、力と、行動で、できあがつた、資料館になつた。

高校教師を定年退職した渡辺さんは、いまなお、その地を歩き続けている。私もそのツアーに参加して、話を聞かせてもらったひとりである(明治大学平和教育登戸研究所資料館のサイトから、だれでも無料でツアーも予約できるからぜひ参加してみて!)。

渡辺さんはいまなお、これまで話せなかつたけれどいまならと、話をしに来てくれるかもしれない人を待つてゐるし、歩くことをやめない。

私は、また思わず「いったいどうしたらこんなことができるのですか?」と尋ねてしまつたのだが、渡辺さんはこうおつしやつた。

「待つことです。焦らずに、ひたすら待つこと。それから、若い人たちと一緒にやることです」

正直、私はこれまで「歴史」というものは、教科書に書かれていることを、とにかく真面目に勉強さえすればいい、と信じていた。だれか偉い人だとか、賢い人だとか、学者だとかが、調べたり、まとめたりしてくれるものを、ただ学べばいい、とばかり思つてゐた。

けれど、実際にあつた過去のことが、40年もの間、「歴史」からなかつたことにされていたのだ。教科書にも、歴史書にさえ、書かれていなかつた。そしてそれは、高校教師が、高校生たちが、知ろうと、聞こうとしなければ、なかつたままになつてゐた、ないことにされたままのことだつたのだ。

かつての陸軍登戸研究所でのことを語つた科学者のうちのひとり伴繁雄さんは、これまで大人相手には決して口を開かなかつたという。けれど、高校生になら語ろう、とかつて自らが行った人体実験についてまで、告白した。

私は、ひとりひとりが、決して無力なんかではないことを知る。

そんなこんなを経て、『女の子たち風船爆弾をつくる』という本が、できあがつた。

ミュージシャンでもある寺尾紗穂さんの企画で、それを舞台作品にもしてもらった(その音楽朗読劇『女の子たち風船爆弾をつくる』の映像版を2025年8月16日に日比谷図書文化館日比谷コンベンションホールで上映予定！ ちなみに日比谷公園は戦時中、風船爆弾づくりに動員された女の子たちの同級生のうちのひとり、有楽町駅前で空襲で死んだ女の子の死体が並べられていた場所でもある)。

けれど、それで話は、まだ終わらない。

本を読んだ方が、舞台を見た方が、新聞やラジオなどメディアインタビューを見た方が、私にご連絡をくださり、教えてくれた。

私の母が、私の祖母が、私の母の親友が、東京宝塚劇場で、風船爆弾をつくっていました。

いま、私はそのお話をひとつひとつ聞き、文藝春秋の文芸雑誌「文學界」にぽつぽつと書かせてもらっている。その話や女の子たちが遺した物たちとともに、東京・六本木の Yutaka Kikutake Gallery で展覧会もやった。

かつて雙葉高等女学校で動員され風船爆弾づくりにかかわった女の子のうちのひとり、Yさんは、お孫さんとX(旧Twitter)を通じて出会えた。Yさんのお孫さんが、私のインタビューの引用とともにYさんことをポストして、それがきっかけになった。なんと21世紀である。

Yさんは2024年に新型コロナウイルス感染症で亡くなっていて、私は直接お会いすることはできなかった。けれど、Yさんのお孫さんが、Yさんの残したファイルを手渡してくださった。あまりにも完璧に整理されたそれは、あたかも、誰かに手渡されることを見据えて準備されたかのようだった。

そこにはYさんが高等女学校時代に学校の授業で書いたとおぼしき書と絵がしまわれてあった。変体仮名で書かれた「いろは歌」。それから、日本画の様式で描いたYさん自身の左手の絵(昭和17年、三年「い組」というクラス名、自身の名前が添えられている)。

Yさんがそれを書いた、描いたのは、いずれも、「いろは歌」の暗号名を持つ「ふ」号作戦に動員されるよりも、その手が過酷な風船爆弾づくりで生涯にわたり腫れて節が変形してしまうよりも、前のことであった。



「Yの左手（三年い組）」昭和17年（小林氏提供）

Yさんは戦後ずっと、あの戦争について書かれた本を探しては熱心に読み続けていたという。けれど、いくら読んでも、答えは見つからなかつたのかもしれない。死ぬまで、その書と絵を大切に保存し続けたYさんの気持ちを、私はわかることはできない。けれど、それでも、「いろは歌」を、もはや存在しないその左手を前に、私は、胸が詰まる。

かつて麹町高等女学校から動員され風船爆弾づくりにかかわった女の子のうちのひとり、Tさんには、娘さんを通して出会えた。Tさんの娘さんは、明治大学平和教育登戸研究所資料館で山田朗館長と対談したおり、わざわざ私を訪ねてくださった。私の本を読んで、Tさんの娘さんは、こうおっしゃった。

「かつて母が話してくれた『をば中尉』の話は本当だったんだ」

東京宝塚劇場での風船爆弾づくりの際に訓示をしていた軍の中尉は、「秘密をば漏らさぬように」

といった具合で〇〇をばを連発するものだから、Tさんたちは「をば中尉」のあだ名をつけて、何回をばを言うかこっそり数えて笑っていたという。私は、そのあだ名を、麹町学園の先生から手渡された、かつての卒業生座談会のメモに見つけ、本に書き入れていたのであった(ちなみに座談会メモでは「おばちゅう」と記されていたので、その由来はわからなかったのだったが、Tさんの娘さんの証言でそれが「をば中尉」であるという真相を、はじめて知った)。

Tさんはいまも生きている。けれど、いま、Tさんはもう、口をきくことができない。

Tさんの娘さんはしかし、Tさんが風船爆弾づくりをしたことやかつての話を以前にビデオに撮影し聞き取りしていて、それを書き起こしてまとめていたものを、私に手渡してくださった。

Tさんの手は、冬がくるたび、赤く腫れあがっていたという。

Tさんは、自分の手を、「タラコみたい」と言う。Tさんの娘たちは、「ウィンナーみたい」と言う。その頃のウィンナーは、赤かったから。

Tさんは、娘の幼稚園卒園式の謝恩会で、神父様にお茶を出したりしなくちゃならなかつたとき、テーブルの上に手を出すのが、本当に恥ずかしくてたまらなかつた、という。

私は、私の知らなかつた戦争を、戦後を、ひとりひとりの人生を、知る。

けれどそこにつけてわえたいのは、かつて風船爆弾をつくった女の子たちが通つたのは、高等女学校だったということ。その女の子たちは、読み書きができた。だから、その記録を残すことができた、ともいえる。当時、高等女学校へ進学できた女の子たちは、きわめて裕福で恵まれている、稀な存在だった。

思い返せば、私の祖母は、新潟の雪深い村に生まれ、16歳で東京へ出て働いていたから、尋常小学校を6年までしか出ていなかつた。彼女は畠仕事の手伝いも忙しかつたし、まともに勉強もできなかつたから、読み書きがうまくできなかつた。自分の名前や買い物のメモ程度をカタカナ混じりに書くことはできたけれど、本を読んでいるのも、長い文章や日記を書いている姿も、私は見たことがない。

彼女はひたすら編み物をしていて、家へ遊びに行くといつもテレビがついていた。

私は、『女の子たち風船爆弾をつくる』を書きながら、何度も、私の祖母のことを想つた。

まだ幼い私に話してくれた、彼女の話を思い出す。

庭にあつた大きな杉の木のこと。鍋に豆腐と生きたどじょうをいれて火にかけるとやがて豆腐にびっしりどじょうがつまつた料理ができあがること。片目が見えない姉を落とし穴に突き落とした同級生の男の子がやがて戦争で兵隊にとられ戦地で死んでざまみろと思ったこと。

その話は、決して書き記されなかつた。

何かを書き残すことができた女の子たちの向こうには、何かを書き残すことができなかつた女の子たちがいることを、私は忘れずにいたい。

かつて、男たちは兵隊になって死ねば、靖国神社にその名前が刻まれ、英靈になつた。沖縄戦や従軍看護婦といったごく一部の例外はあれど、女たちは、死んでも、その名前が刻まれることもないし、英靈になることもない。英靈の聲、に女の子たちの声は、含まれないし、聞かれない。けれど、それでも、その女の子たちの声を、生を、名前を、大事だと思ったひとりひとりが、それを記憶し、記録し、私に手渡してくれた。私は、いま、ここに、それを、ひとつ残さず、きちんと、刻みたい。



かつて雙葉高等女学校で動員され風船爆弾づくりにかかわった女の子のうちのひとり、やがて前述の Y さんと同級生になる M さんの幼馴染の親友 R さん、かつぱちゃんというあだ名で呼ばれていた女の子の息子さんが、私に 1 枚の写真を手渡してくれた。

それは、幼稚園時代の遊戯会で、M さんとかつぱちゃんが一緒にダンスを踊る写真だった。

M さんとかつぱちゃん ©Erika Kobayashi, Yutaka Kikutake Gallery

やがてふたりは別々の学校へ通うことになるのだったが、生涯にわたりその友情は続いたという。かつぱちゃんの息子さんは、その母から、M さんが東京宝塚劇場に動員されていたときの話を聞いて記憶していて、それを私に話してくれた。

コンニヤク屋さんのおやじさんが劇場内の階段でこけて骨折した。

全ては軍事機密なので決して話を漏らしてはいけないときついわれていたというけれど、女の子たちの口を完全に塞ぐことなんて、できなかつたのだろう。

そして女の子たちの友情は、血縁を越えて、どこまでも、その記憶を運ぶ。

これらはどれも、決して大文字の「歴史」には書き記されることがない、些細なことかもしれない。けれど、私にはこうしたひとつひとつの話が、とてもなく尊い、至極大切ななものに思える。そして何より、それを手渡してもらえたことは、まぎれもなく奇跡みたいなことだと、私は思う。私は、いまそれを、刻み、また次へと手渡すために、全力を尽くしたい。これを読んでくださつたひとりひとりにも、そのために力をかしてもらいたい。どうかよろしくおねがいします。

さて、冒頭に紹介した私のコンニャクについて話を戻そう。

真夏に葉は順調に生い茂り、最高のコンニャク芋が収穫できるものと、秋に土を掘り返したら、どうしたことか、埋めたときよりも小さく縮んだコンニャク芋があらわれた。失敗である。

完全に傷心の私であったが、『女の子たち風船爆弾をつくる』の本が毎日出版文化賞という賞をいただいたお祝いに上州下仁田屋神戸農園からまたコンニャク芋をいただけたことになったので、そのうちのひとつを明治大学平和教育登戸研究所資料館にお贈りすることにした。

そうしたら、かのコンニャク芋を実際に丁寧に保管してくださり、春に芽が出たところで、楮の木のとなりに植えてもらえた。そのうえそこに寄贈プレートまで立ててくださるという。

この夏、遂に、楮とコンニャク、風船爆弾の原料となった植物たちが並んで生える姿を、私はこの目で見ることができるかもしれない。私が叶えられなかつたものを資料館に託すことができ、わくわくしている。

もうすぐ戦争が終わって 80 年目の夏が来る。

かつて、風船爆弾をつくった女の子たちが、いま、ひとりまたひとりと、語り、あるいは、語らないまま、亡くなつてゆく。南村さんも、私が本をお見せするよりさきに、亡くなつてしまつた。彼女たちの戦争は終わらない。

私が、私たちが、聞くべきことは、受け取るべきことは、まだたくさんある。

source : 文藝春秋 2025 年 8 月号



ゼンチャン

おはよう

東京も梅雨明けした見たいですね。
今朝の不忍池は静かで観光客もなく
気持ち良い朝の風景写真ですね。



木場

上野公園、不忍池のハス凄いですね！



永野

不忍池のまわりのマンションに住みたい気持ち。



西山

そうですね、不忍池の向こうには、視界を遮るものがないので
眺めが良いと思います。朝日も直接差し込んでいます。
不忍池のそばのマンションに引っ越される事は良いと思います。で
も空室があるかどうかは分かりません。

あそこからは桜島は見えない事はご承知おきください。



木場

もし、不忍池の近くに住めたら、長生きされることでしやう？



森

家賃を払うのに寿命が縮まるかも



永野

どのくらいですか？



森

都心のマンションは億ションです。



西山

連日暑い日が続いております。皆様どのようにお過ごでしやうか？

私は5時台か遅くとも6時ころには10分間の散歩、その後、必要があれば午後に買い物に出かけます。

多くの時間を部屋の中で過ごしております。これが1番良いように思います。でも人によってはお出かけの方も多いかと思います。
大相撲ファンの方、大の里早くも三敗、誰が予想したでしやうか？



森

外には出たくありません



大石

見たことがありますか？



開花したリュウゼツランの前で校章を掲げる鹿児島玉龍高校生
=23日、鹿児島市池之上町

方言の継承や記録に役立
て
鹿大生製作・発表
かごつま弁伝承
動画やゲームで

校章由来の植物 創立85年に開花

鹿児島市池之上町の鹿児島玉龍中学・高校で、数十年に一度咲くといわれるリュウゼツランが開花した。

校章にデザインされ、同校のシンボル的な植物。今年の創立85周年を祝うように、真っすぐに伸びた茎の上に咲き誇る花を、生徒らは感概深げに眺めている。開花したのは、校舎前の校訓を刻んだ石碑の周りに植えられた10株ほどの中の1株。4月ころから花茎が伸び始め、7月初めから5月6片近くで黄色い花が咲き始めた。

同校の校章はリュウゼツランの葉3枚で玉を包むようにデザインされている。校内にはほかにも植えているが、開花の記録は残っていないという。生徒会長の堤鳩也さん（高校2年）は「もっと派手な花かと思ったが、意外に清楚で驚いた。中学から入って5年目、在学中に花を見ることができて感激した」と話している。

（下栗澤也）

リュウゼツラン



上山

おはようございます

母校玉龍の校章が、竜舌蘭だつとは、初めて知りました。

しかも花まで咲くとはびっくりです。

いつも珍しいことや新しいこと教えてください 勉強になります。

皆さん今日も熱中症に気をつけて水分摂取を心がけましょう。



西山

さて、内閣総理大臣の去就も大変なところに来ていますが、大相撲も大変な千秋楽を迎えてます。

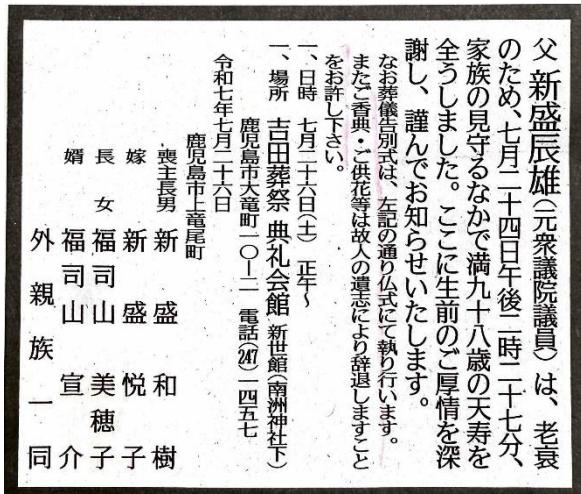
しかしこちらのほうはスッキリと結着がつけられます。





大石

鎌田さんと二人で出席してきました。



大石

満山一朗さんから、テレビ出演のお知らせです。
残念ながら鹿児島だけの放映？



大石

パート④迄あります。
観たいですか？
ハイ、イイエでお答えを？



森

ハイ



西山

すごいですね！まさに鉄人と言つていいでしょう。



大石

続きを観ますか？



満山一朗 >

7月15日(火) 14:26

近くに又森くん宅で『ソーメン流しランチ会』予定しています。クルマでいらっしゃい

冷やソーメン、今年は特に有り難いです。是非参加したいものです。

了解です。決まつたら連絡します。

7月21日(月) 11:49

チャンハウスはTV e rで「鹿児島のイチローチャンハウス」で24日迄無料で見れるそうです。あとは金をとるようなので気を付けて下さい。

今日 17:55

緊急お知らせです。鹿児島は無いと言われたのに、若者から今夜の12時50分からチャンハウスがKTSで放送されますよと教えてくれました。過去最高



森
見る



大石
おわり



森
鹿児島の一郎も殿堂入りか…それにしても凄いですね



大石

この 4 @森繁部作で 20 分の YouTube 動画を満山一朗くんに永久保存版でもプレゼント  と思うけど著作権侵害行為で罰金なんてこと^_^ないとは思うけど(プレゼント)(営利行為ではない)ので。



森
彼も録画してるんじゃないね？



大石
その可能性は半々かなあ



ゼンチャン
動画を観ていると彼のガンはすでに消えているね

満山 一朗 (1939 年 6 月 12 日生)

国内各地のバッティングセンターで、ホームラン記録を重ね続けていることで知られる。

通称:「鹿児島のイチロー」「バッティングセンターのホームラン王」「バッティングセンターの怪物」「燃料和尚」(モータージャーナリストとして執筆しているコラムでの通称)。

「鹿児島のイチロー」出演したテレビ番組

2007 年 4 月 29 日、南日本放送

「人生フルスイング!~ホームラン王 イチロー物語~」

2007 年 6 月 21 日、南日本放送で『どーんと鹿児島』にて放送。

2008 年 2 月 7 日、第 32 回 JNN ネットワーク協議会賞番組部門エンタ

ティンメント番組。

2008年4月14日、TBSニュースバードのJNNドキュメントでも放送。

2007年8月26日、関西テレビ制作・フジテレビ系列で放送。

2008年7月17日、NHK BS hiで放送。

2009年6月5日、フジテレビ系列で放送

2009年8月12日、日本テレビ系列で放送。

「リアルウォッチ」のコーナーで、通算2000本ホームラン達成を伝えた。



モータージャーナリストとしての活動

1970年代の排ガス規制の際、日産スカイラインのスポーツ仕様のSUツインキャブの改造を自動車工学に投稿したことが縁で、1983年から雑誌自動車工学に「燃費和尚のクルマ社会アラカルト」という題名の不定期連載を、1980年代後半の連載で燃費和尚という名前を編集長に付けられた。

著書:ザ・燃費の世界—自動車工学 - 1987年1月、発行:鉄道日本社。

頑固親父から『娘(ドライバー)へ』毒舌力—ライフ説法 - 1997年8月、発行:鉄道日本社。

雑誌連載: 燃料和尚のクルマ社会アラカルト - 「自動車工学」での不定期連載コラム。

筆者の長年の実体験を基に燃費を題材にした連載を続けている。自ら所有する自家用車を実験車と位置づけ、数々の実験を行い、整備の大切さを訴えている。



大有

 タイロンパワー主演のこの素敵なお題の映画、観たような気もするがよく思ひ出せません。八期の映画評論家・隆さんの一口解説を。もちろん録画します。

今日 1 時から BS です。ケイジ



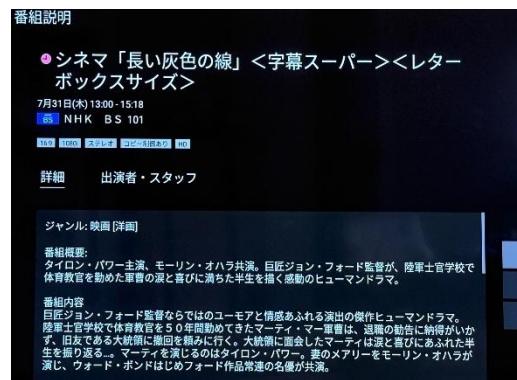
西山

あなた-BS, わたし-PC



卷

私は WC





編集人から

今月も多数の書き込み、誠にありがとうございました。

来月8月になりましても、より一層多くの書き込み、多くの方々の投稿をお待ち申し上げております。

『玉龍八期会 卒55周年記念誌』

おおいしけいじ
おおいしけいじ

浜崎さんの復刻版が登場したこともあるって、いや以前から「卒55周年記念誌」は、多くの人びとに読み返されているという声を耳にしておりました。

今は亡き方でも書いた物は残り、在りし日を偲ぶことができます。

幸いなことに、このオンライン日記に復刻掲載できますので、順次お届けします。

編集後記



はじめにことばがあつた。言葉は始めて神と共にあつた。すべてのものはこれによつてできた。できるものの一つとしてこれによらないものはなかつた。

聖書・ヨハネによる福音書第一章の冒頭

〇歳。でも問題は健康年齢である。日常生活が平均寿命が延びている。男性八〇歳、女性九〇歳。だがそちらのほうは男は七五歳、女は八〇歳、それから先は医療や介護の世話になつて、問題は健康年齢である。最

近マスクミが騒いでいる認知症(言葉は良い

がボケ老人である)はやっかいである。「初期

のボケなら必ず治る薬」が発見されたらこの

齡による生活習慣病や体力減退は「仕方が

ないね、お互いさま」と家族に我慢してもらうと

して、問題は「自分喪失」になつた時である。最



疎闊の想い出

四四
升斗



私達のうつてても、もう何人かの君が天高くじ仰がれてゆかれた。卒業した年の夏だったらしい。男子の坂本君が眞田虎之助を慕いた。今まではついた事ない。ひらくしたがうれしかった。そしては、たあいのなが又面に水蓮の花がうす紫色の水彩で描かれていた。丁寧に描かれたその小さな顔に見入るながら、みんなに出されたのだろうか、彼女も描くのは大変だったでしょかと思ひながら、そのまま仕舞いしみ、その夏も過ぎてしまった。何年か経つてから、その友の早逝を知ったのだった。今でも時折想ひ出す、心残りの想い出になつてゐる。

いのどこの夜中に回すみると思い出される事がある。むの記憶の底に埋もでてしまつたがこ思えていたのだけだ。人との別れを知つたのは、あの子との別れからはじめたからと思つた。

やうの災難も回遊に追つていた田、六月の夜だつた。私の家族は、時折小雨のほんづくで這あたひつて、古跡の中別院という所へ父の知人を頼つて説教したのだ。今田のい、廣の上段のうたのだつたのだ。高みから見下ろせる所で立ち留まつた父が、先田の堀駆のせで焼けたばかりの我家の泥れをじっと眺めていた。しかもひばりの聲のなかで上り下りついた。

上の着てたその田は、梅雨時の水を湛えた水田に葦が青々と風に揺れていた。今まで見た事やなつた田舎の風景が私をすっかり懐にしてしまつた。そしての夏かの香までの聲のしさ、やわらかいつ出でる。

近所の子供達の後につづつて野草を踏みにけつたら、山の邊に母や娘と芋を植えに行つたと毎日が楽しかった。

高次脳機能障害の木とくらす日々

伊藤 進子（6組）



110-1年四四十五日、私は6月十九回目の結婚記念日翌日の朝、私は主人の貴重な財産をもつた。

せんじゆにいつも記念して「彼女は」と他の事を聞かなければ行動的な主人が、朝食の準備をつづる私のところへ一階から歸つて来た時の「顔色が少し悪いなあ」と私は感つました。でも、主人は前夜入った食洗機の中の食器を食器棚に戻して置かれたり、私を手伝つていきました。

その内、テーブルにつき毎朝の習慣である大根おろしを自分でおろしていましたが、それを入れる小皿を下に落とし、皿を落とす。次に「はんわん」一杯食べ、その頃から左の口角が少し下がつて、私は家付き、救急車を手配しました。幸いに救急車がすぐ来て、金縛口の開院前の国立病院へと運ばれ、診察の結果「脳内出血」と診断されました。

主人には心臓拍動の持病があり、抜糞は受けていましたので、治療もT.P.A.その他の装置で手術をせずに1ヶ月の入院生活をこの病院で過りました。この間、肺炎等を経て、高熱が出ていた、ほんとうにもうダメかなると思つ事が数回ありました。ある時、高熱當中の脳から覚めた主人が、「えんまさん、安樂死はまだ仕事があるから済みなさい」と言つたと聞いて、私は頭をひっくり返りました。このじいがちで、「私は「この人は田舎の人たまに、いやがいすにやつて来たんだから助けて頂けるかも」と思つもつてしました。

「Jの病院では、ベッドの上だけの簡単なつばつぱで、口からの食事は一回もなく、萬能ロリーの栄養食を鼻から入れていましたが、体重も十kg程度落ちて、ほんと「Jの病院は死んでしまった」。

Jの病院に転院して1日後には全ての管がはずされ、入浴も入院後初めてして、尿管の脱むれのことでロリの管が抜まり、毎回浣食でむづりする毎日でした。体力弱いは回復しつづけ、日間に軽い後遺症がありました。日常生活に支障はありませんでした。

「Jの先生から連絡が近づいて、「高次脳機能障害があります」と診断

され、私は初めて聞くJの障害の意味がわからませんでした。

「見みたといふ、Jの娘（発病三ヶ月後）の主人は、よく食べ食事も問題なし出来て、日常生活はほぼ自立で出来ましたので「これは娘の娘さんとは違う娘むべと生きてある事にはないと思つた」と記ねば、「ええ、それでJの娘の事か」と思いましたが、ついで「Jが重い手で医院出来、先生はじめ看護士達もひつひつしてましたが、Jの口は健在が健在でありますと主人の場合は、Jの口筋が理解出来ず、J新しく事を（経験した事のないもの）中々憶えられねえ、今後のもの」やる事がおきな、褐色々ありますか、性格はかしいて穎やかになります、微笑もしげれで思える時もあります。

外出も近所やうも行つて、Jの病院では一人で行き、都心に出かける時は私が同行します。心配しながら待つて、私が私が来たのを知つたのが私が来たのを「やがて」主人がよく利用していた乗換駅等は、Jに私を説導しますが、やめるとJのじかした時、解りがくなるかひじか。

Jの娘の方もじらうじらうと思いますが、最後に高次脳機能障害について私が最近本等で見聞した事を記しておきます。

Jの病院で交通事故やその他の事故等による外傷性の脳損傷等」が原因として多いのが、脳卒中で交通事故やその他の事故等による外傷性の脳損傷でも多く見られ、Jの障害の千人の方からいたが、千人千様だそうですね。幸いな事に主人はその中でも、ほんとうに軽い方だと思いますが、日々日常生活の中で一緒に生活してくる者にしかわからぬJの苦があるあります。

外から見てもわからないので、見えない障害とも言われていますが、日々色々な事で恐るたり笑つたりして暮らして、解つてはいるけど現状を受け入れる事の修養が足りない自分を語りいやになつたり、一番大変なのは主人だらうなーと嘆付いたり、入院中あんまり大変な思いをしたのに「Jにじこんなに元気な姿で生きていらひやがー」と思つて自分を励まします。

どうぞ皆様、周囲にJの病者の方がいらっしゃつたの理解してあけて下さる。私も日々感謝し、主人に接ひの日々がんばらあがれ。



鹿児島のイチロー

満山 一朗（2組）



『糖尿病がもたらせた奇跡の人生』

私は小さい時から駆けっこはいつもピリ。鉄棒の逆上がり一つ出来ず、跳び箱飛

べすの大運動オーナーで、玉龍時代の運動会では雲隠れを得意としておりましたので、私のことを「存じの方は極々一部しかおられないはずです。そして六十一歳の夏までは、文学系の人間として地味に地味に過ごしてきました。

強いて私が人様から「自置かれていた」としたい、カラオケスナックのママさんから「マイウェイは満山さんにしか歌わせない」と言っていたことくらいしかありません。

それが六十一歳の夏の終わりに糖尿病との宣告を受け、食事療法と何か運動をして血糖値を下げよと医師に命じられたことで、歩くのは大嫌いだったので、立つたままで汗のかけそうなバッティングセンター通いをすることにしたわけです。

そして天の神様が一本のホームランを惠んで下さったことから、私の人生は想像

だにしなかつた方向へ「これでもか、これでもか」と流れ続けております。

テレビや新聞雑誌などのお蔭で人から注目されたり、夢を託される存在となつた為に、誰もやらないような過酷な鍛錬を積んで来ました結果、七十一歳の現在、私の体は二十七歳台のレベルを超えるパワーとスタミナを備えるに至つております。現役の野球青年たちや甲子園球児たちを相手に「フルスイングの真っ向勝負」を開いておりまして、『日本初』の一人の打者が受け立つて、ホームラン対決をするというイベントをメテオ・スーパー・ドームの協力のもとに行っております。

「鹿児島のイチローとの一対一のホームラン対決」というものです。一年間で公開用の記録用紙に記入された対決は五百十回あります。私の一百九十六勝百十七敗八十七引分けという結果になつております。ホームランの数は私が七百八十七本で、挑戦者たちの合計は四百二十九本となりております。

この対決イベントは、テレビなどで五回の取材がありますが、私の七勝一敗一引分けで、ホームランの本数は私が十九本で、挑戦者（全員社会人野球選手）たちの合計は二本となりております。客観的に公開記録用紙の結果を裏付けております。

若い時回りの運動もしたじとの無い七十一歳が、元気盛りの若者達相手に「受け立つ、なんてい」とやりかした上に、現役の甲子園球児の四番打者と飛ばし合いをして勝てるなんて夢にも思っていませんでした。

天の神様のいたずらにだとしても度を越えている感じです。

最も新しいテレビはOCMOテレビの十一月七日でしたが、「これが少しカットされたものをインターネットで流しておられます。『七十一歳、鹿児島のイチロー』と検索して下されば出て来ます。

関心のある方はご覧になってみて下さい。この日は四人の野球青年と対決させられたのですが、私が七本のホームランを打つて、あとは勝った野球青年（点数制なので打率で勝つた）をはじめとして、誰もホームランは打てなかつたので、特大ホームラン、という表現になつてしまつたものと思われますが、実際には普通のレベルのホームランです。

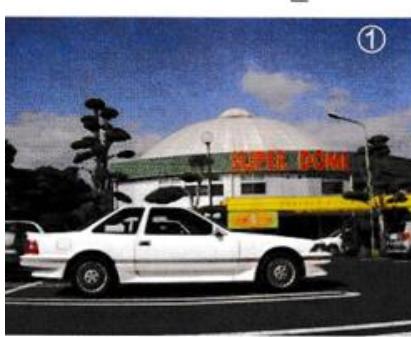
年々衰える頭とは裏腹に、パワーやタフさは逆に年々上がり続ける一方ですが、これは多くの野球青年達が惜しむことなく色々なバッティング技術を教えてくれたり、見守ってくれていてお蔭なのです。

それに加えて、同級生の皆さんが夢を託して下さつておりましたが、新たな大きなエネルギーを生み出しております。本当にこんなありがたい人生は無いものと、心から感謝の念の絶えない昨日です。

（私の戦いの軌跡に関心をお持ちでしたら、ファンの方がホームページを作つて下さいとおれますので「<http://www1.ocn.ne.jp/~k-ichiro>」を「J」に見なして下さい）

いくつか写真を紹介しておきます。

①



②燃費テストの途中に、あちこちのバッティングセンターに武者修行に立ち寄っておりますが、これは青森県のバッティングセンターでのホームラ

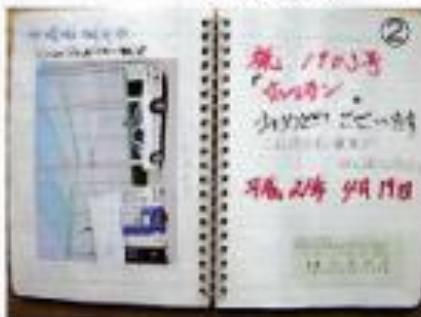
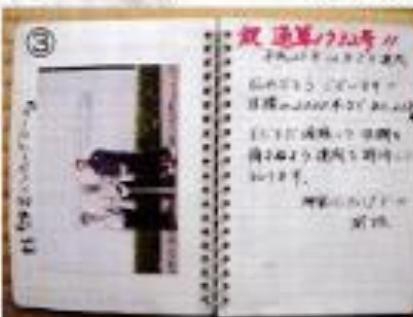
日低いた青年かい。鹿沢島のイチローさんですも
ね。『ほんまに』の歌で来のれんですか。とおわれ
あつて、『へい、青森でもわかるのか。』と云うつし
おしだが、ありたぬでトロンの影響力の強さを知
知るやうにたるものでした。

（東京での収録でよくお世話になつた）「相撲バツティングドーム」です。

西川：これが一連の流れの政策演習です。そこで、結構な形でやっていますが、なぜか理解できません。

こんな顔を見るのが私も大きな楽しみなので人知れず過酷な演技を積んでいるわけです。

6石のバットは筋肉青年達が驚く千四百㌘のバットです。これを私と同じようにクリップフックに小刀をかけて、長尺を握ってフルスイング出来る野球選手



手がないので、私のような若い人が高い勝率と示すのが、幸運を説くのです。

時々修理の必要がありまして、その時には、

八歳のバットを代用しております。

「ミスエリス、私が私達の会話を盗聴するのはどうですか？」

一、六ですが、誰の力で書かれたものか

で、実際にスイングすると金属製の一端のトレー

一シングバットより重たいのがウドー。

人の風立ちなづけに吹き飛ばされた風の匂ひで、体のあひに心懶懶ぬがゆうむがゆうむ

三

20. Ma

卷之三

110

111

『たけしのタタカベース』の収録裏話

「結構でござりますまい。」しかし年齢は「アラ八〇の頃のねじれ症」「口唇から喉のなか
し」「天あてんこ病」「パラティンクセンターホームラン病」「たむのやき
カベース」と語った。



ところが台本が送つて来たので読んでみると私のセリフが結構あるのだ。しまつた、コレを確かめるのを忘れていたと後悔したが、もう後の祭りで、覚えるしか仕方がなくなつて新幹線の中で必死に暗記した。

指定された東京足立区のバッティングセンターに行くと、もう皆さん集まつておられて打ち合せが始まるとじきだった。

それでも爆笑の連続で、私は最後に登場することにになっているので、この様子を反対側の椅子に座らされて見ているのだが、面白さに引き込まれてしまつて自分の言わねばならないことを殆ど忘れてしまつて、むりしても思い出せずに頭の中が真っ白になつた。

そして出番が近づくにしたがって、焦りと緊張で肩や首筋が「ココリ」に凝ついて来て、たけしさんと同じように「つぼぐし」の動作をしてしまって、ハツとして止めたが、それを見たプロテューサーの人が後ろに来て、すーっともみぼぐして下さって大助かりだった。

本番では司会進行役のタカラさんが“伝説のプレーヤーを紹介します”とか、紹介役のYさんが“パッティングに関しては他の追随を許さない”などと大げさに紹介されるので、尚更に上がってしまって口の中はカラカラになつた。

椅子にかけても脣が渴いてしゃべれない感じだったが、映像にもぐロで濡らせているのがバツチリ映つてゐる。

だが、一呼吸おいてからはタカラさんが上手くリードして下さつたことと、たけさん、はじめ皆さんが絶妙に合いの手を入れて下さつたお蔭で、なんとか必要なことを言つことが出来てゐるようだ。

そして自分のバッティング論を実証せよとの意図で、奥さんの前で十球ほどをホームランの意を狙つて打つことになったが、野外のバッティングセンターの為に白内障が悪さをして見えにくかったが、詰りながらも一応ホームランの意に近いのを一本打て、なんとか役目を果たすことが出来て内心ホッとした。

このテレビは、二週連続で放映された為に、結構見た人が多かったらしくて、メテオ・スーパー・ドームに“ホームランを打って見せて下さい”とか、“たけしさん達が何度も驚かれていた千二百gというバットを見せて下さい”と言つて、訪ねて来られる人が続いているし、大型ショッピングモールへ行つたりすると“たけしさんのテレビで見ましたよ”と声をかけられたり、写真をねだらされている。さすがは“たけしさん”的番組だなと感心している。

A group of nine people, including a man in a baseball uniform, posing in front of a yellow wall with Japanese text.

れどバッティングセンターに馴れていないこともあって打ちにくそうだった。やはり映像ではカットしてあったが、真剣に打たれていたのでプロの打法として我々の研究用に欲しい映像だった。その後は福岡からつづいて来られ、二二二

式のマシンでの体験があつたが、これはボールの出るタイミングが全くわからぬいので、私は一本しか打てなかつた。

いた「しさんも打たれたか」私同様にタ
イミングがそれなかつた。しかしじん
ぎは鋭くて素晴らしかつた。

絶れ二十九回で記念の真をさされたか
もう七十回以上ナレッジに出されているが
こんなことは初めてで、本当にいい記念
写真になった。

全てが終わつてから、たけしさん、に、今回使って、その重さに皆さんが驚かれていた千一百㌘のバットにサインをお願いしたのですが、遠く書きにいくのに気持ぢら

良く、ピートだけし、と書いて下さった。
このバットは、メーカーから直接購入したものを私のバッティングに合わせて、
最大限にヘッドが重くて走るようにと、グリップ部分を極細に削り加工しているの

だ。（一番細い部分で）の繩が解まつて、一巴玉を載せて動いてある。この加工により、千一二四のバットとしては最大級のヘッドの重さにしてあるので、たけさん達がみんなのを振れるなあ、凄いよ、と何度も驚かれていた。

懐かしき高校時代

岩井 英一 (3組)



玉童高校へ入学したのは昭和三十年四月、十五歳の時である。まだまだ幼く、世間知らずの私であった。

最初に思い出すのは「待ち伏せ」事件である。佐賀、宮元、入佐、岩井の四人の仲間は、学校帰りに、女生徒達と何か面白いことでも起きないかと、待ち伏せていたのである。隠れて「お前の彼女だ、話かけろ」とお互いにけしかけあつた。しかし、誰もそれが出来た者はいなかった。

そのうちに仲間達に、家が近いから、中学校が同じだったからと、へ理屈をつけ彼女たちを割り当てた。クラスの女生徒は六人と少なく、彼女を作れそうにない私は、「まあ、いいか」と言う顔をしていた。

こうして勝手に自分の彼女を持つことが出来たのである。しかし、これは「かり（仮）じ」とあり、何も実るものはなく、心は虚しく、人に話せるようなことではないと、みんな自覚していた。

白状するけど、私はそれまで、女の子と話さえしたこととはなかった。その私の彼女は、中学生の時、家が近くでクラスが同じで帰り道も同じだった。

彼女は、他の子と違ってときおり、カバンを大きく振り回し、スカートをふわふと広げたり、スキップしたりしながら帰つていた。

私は帰り道、会わないように追いつかないようにしていった。人目のない所で、そのしぐさを真似てみたりしていた。いつしかぼのかに、いとおしさを覚えていたのだ。と、この時になつて気付いたのである。

仲間たちも口には出さないが「かりじ」とを楽しんでいるようすが伺えた。

ある日、南洲神社の下の通りで、待ち伏せていた。待つている間、自転車を道路脇に置いてふざけあつていたとき、四人とも犬の糞を踏んでしまい、強烈な悪臭が辺り一面にたちこめた。

風の流れもよどんでいて、鼻をつまんでも体に染み込んできそうだったので、何たることか、丁度そこへ彼女達が通りかかったのである。こんな雰囲気には、我々ではないと身を隠してじっと見ていた。彼女達は悪臭たらこめる中を何事もなかったかの如く、悠然と通り過ぎて行ったのである。

そんなはずはない、「キャツ」とか「臭い」とか何等かのリアクションがあつて然るべきだと期待していたのに――。我々は気が抜けた。彼女達は我々よりもずっと大人で、犬の糞臭ぐらいで動じるはずもなかった。

成績も中学生の時から優秀で、私にどうては憧れ、いやマドンナに近い存在だった。こんなことを喜びとする自分達の幼さ、未熟さを思い知らされた事件であった。

体育祭のダンスの練習で、順番に回つて来る彼女達、四人それぞれどんな顔をして彼女と手を繋いでいるか、お互い觀察し合つて後で冷やかすのであった。

「下ばっかい向いて顔も上げんかつたな」「いつちゃん手も繋がんかつたな」等と冷やかしたり、「ねよつた何か話しおしゃつたな、何い話を話しどつたんや」と問い合わせたりしたのである。

仲間だけではなく、あつらこつちで、おなじような会話があつたであろう。何とも幼く、ハフレターラしきものを書くよくなじむなく、無粋な青春時代であった。

入学して直ぐ「柔道部」に入った。しかし練習はいつも受け身が多く、乱取りでは、筋むき先輩たちに投げられるばかりで、技は殆んど教えてもらえないかった。体を鍛えるだけではなく、技を学びたかったのである。半年も続かず止めてしまった。

でも何かものたりなくて、砂場で羽生と、時には日高と相撲を取つた。如何に相手の力を利用するかと一人で研究した。授業があるのも忘れて、そのままさぼつてしまつたこともあった。

一年になると、校舎のつなぎ目の所で相撲を取つている者がいつも五、六人はいた。羽生との研究の成果もあつて、私は足技が冴えて体格のよい者にもよく勝つた。

仲間つねで、入佐が柄錦、私は千代の山で、若乃花は伊地知だつたろうか。何故こんな風に決めてかかるのか、まだ、子供心から抜け切れていなかつたのだろう。

「水泳」の授業は、プールがまだ無く、磯で行われていた。もちろん男女は別々の時間帯に分かれるのである。

女子の時には、少し離れたちやんぼ餅屋の横に隠れて、ちやんぼ餅をねぶりながら、「おつと、おつと、あそこにお前の彼女が」と、ふたん見ることのない情景に目を輝かせながら冷やかしあつて楽しんでいた。

そのふざけ心が男子の番になつても続いたのか、我々はあまり眞面目には取り組んでいなかつたのである。